



相原 章会長 尾崎 康幹事



第2770地区 第1グループ

## 浦和中ロータリークラブ

2020-2021 クラブターゲット

「発見、創造、魅力あふれるクラブに！」

— 組織を創る 仲間を創る 明日を創る —



ロータリーは  
機会の扉を開く

### 今日の例会

9月3日(木) 第1420回例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館 2階第一ホール

卓話者：第2770地区ガバナーエレクト 松本輝夫様

テーマ：『次年度ガバナーとして思うこと』

### 次の例会

9月10日(木) 第1421回例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館 2階第一ホール

卓話者：株式会社manebi CEO 田島 智也 様

テーマ：『オンラインによる キャリア形成支援』

### 会長挨拶

会長 相原 章

8月最終例会にご出席いただきありがとうございます。本日は横田会員のご紹介で、YEGさいたま商工会議所青年部OBの熊坂様、安東様、萩原様にお越しいただいています。熊坂様には後程、卓話を願っています。熊坂様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて先週お約束した南アルプスの温泉のご紹介から始めさせていただきます。中央道双葉ジャンクションから中部横断道で下部温泉早川ICまで、そこからはひたすら山奥へ1時間、そこにはギネスブックに認定された世界最古の宿があり、日本一の湧出量を誇る西山温泉があります。先週ご案内した北アルプスの急峻な山岳地帯と違い、南アルプスは雄大ですべてを包み込むような母なる山々が連なっています。この南アルプスの麓にある温泉はまるで子宮の中で羊水に浸かっているような、本当に柔らかな非常に魅力的な泉質とロケーションの温泉です。だからこんな山奥でも人が来るのです。

では私たち浦和中ロータリークラブにこの温泉のように人を集める、人を惹きつける魅力があるでしょうか？例えば浦和クラブ、東クラブ、南クラブ、ダイヤモンドクラブと比べて、うちはここが違う、これが他のクラブにない魅力だ、と自信をもって言えるようになれば、ことさら声高に会員増強など叫ぶ必要はなくなります。私はいつの日か中クラブに会員増強維持委員会が無くなる時が来ることを望んでいます。ではそのために具体的にどうしたらよいのか？ まずこのクラブのビジョン声明をご覧ください。私たちはクラブを愛する心を育み、積極的にクラブに参加し、地域社会や国際社会に対して持続可能な奉仕活動を行うことで会員自身の人格形成に寄与できる、先進的なクラブを目指します。どうですか？実に魅力的なクラブですよ。このビジョン声明のキーワードは「クラブを愛する心」「持続可能な奉仕活動」そして「人格形成」です。この中の「持続可能な奉仕活動」として国際奉仕活動に焦点を当てて魅力あるクラブづくりを考えてみました。

当クラブは、2770地区において国際奉仕といえば浦和中、浦和中といえば国際奉仕といわれるほど、国際奉仕活動において高い評判を得ています。しかし、実態はわずか5~6人に限られたメンバーが一生懸命やっているだけで、とてもクラブ全体で取り組んでいるとは言えません。時間の壁、お金の壁、言葉の壁、原因はいろいろあります。ネパールなんて行っただけで12時間もかかります。私もネパールに行きましたが、飛行機だけで12時間、さらにカトマンズから悪路を5時間、大げさでなく死ぬほどつらい、肉体的にも過酷です。参加者が少ないのも当たり前です。

しかし、浦和中ロータリークラブにとっては国際奉仕活動はせっかくの財産です。そこで今年は、わざわざ現地に行かなくてもいい、国内でできる国際奉仕活動を提案させていただきました。中ロータリーが浦和の地から世界に向けて持続可能な奉仕活動を発信する、そして数年後には千万単位のグローバル補助金をゲットできるようなクラブになれば、それこそ中ロータリーの会員というだけで、地区にとどまらず、全国的にも注目されるようになります。中クラブの会員というだけで誇りが持てるようになります。プライドが持てるようになります。結果、クラブを愛する気持ちが持てるようになります。会員増強など必要なくなります。まあやってみて、何だかどうも共感できない、魅力を感じないということであれば、路線を変えればいだけですが、大事なことはみんなで一緒に「やる」ということです。一緒にやればクラブを愛する心を育むことができる、愛情の裏返しは憎悪ではありません。無関心です。クラブに関心を持ってください。私は現在62歳です。私などよりはるかにロータリー歴の長い、人生の大先輩もたくさんいらっしゃいます。このような方々にもお力を発揮していただきつつ、新しい時代の新しいクラブへと若い世代にバトンタッチしてゆかなければなりません。将来当クラブを背負って立てくれるかもしれない方々が入会しても決して、絶対ガッカリさせない、このクラブに入って良かったと思えるようなクラブにすることが、私に課せられた最大の責務です。一緒に魅力あるクラブをつくってゆきましょう。以上会長挨拶とします。

### 幹事報告 幹事 尾崎 康

- 9/3 次週例会は、第2770地区ガバナーエレクト 松本輝夫様の卓話です。(有志で懇親会予定)
- 8/28 I M実行委員会開催(市川)
- 各部門セミナー(リモート 会長・担当・新会員)
- 9/5(土)ロータリー財団部門(会長・小島・尾崎)
- 9/12(土)奉仕プロジェクト3部門(会長・辻村・松本利男・尾崎)



### 研修委員会からのお願い

9月17日(木)第1422回例会、卓話の表題は、「ロータリーの基礎知識第1回」であります。今年度相原会長は年度計画書に於いて、クラブの近年の出席率の低迷につき懸念を表されております。皆様の出席がなければ意味がありません。ぜひ、皆様出席してください。全員集合の記念写真でも撮ってませんか。



小谷野英一研修リーダー

### ☐ゲストビジターの紹介



← 講師の熊坂 創様

応援団でビジターの→  
安東 毅様  
萩原康一郎様



# 『会員増強維持セミナー 2020』

## 会員増強維持委員会 横田松博委員長



今月は「増強維持月間」ということで、今年度増強維持委員長を仰せつかった私の担当例会となりました。今回の卓話は、通常の増強の話ではなく、「設え」と「助っ人」の内容になります。

まず「設え」ですが、見たとおり今日はかなりの機材を用意しました。今年度中里ガバナーがコロナ禍でも出来る例会として推奨している「ハイブリッド例会」を試験的に導入しました。Zoom会議での参加を可能にし、本日は「キムヒジユさん」「アフィカさん」ほか遠隔より会員が参加します。このような例会の形づくりも出席しやすさを演出するという意味で会員増強や維持につながると思いました。本日のもうひとつの試みは、私の商工会議所青年部の友人で熊坂さんをお呼びしました。彼は設立当時200人だった会員数を500人規模まで拡大した中心にいた会長経験者です。今日は、自己紹介もかねて色々な話をさせていただき予定です。



有限会社 くまさか  
代表取締役 熊坂 創 様

本日横田さんの紹介でやって参りました。有限会社くまさかの代表取締役 熊坂創と申します。宜しくお願ひ致します。職業は常盤で祖父の時代より経師屋を営んでいます。経師屋とは現在の内装業者の前身です。はじめに会員の増強について、私の経験からお話をさせていただきます。元気な会とは自分たちで企画立案し汗をかく自分たちで事業を創るものだと思います。時に事務局にお任せだったり、お金を出すだけで

終わるような事業を見かけますがそんな会は発展しません。今の若い人は非常にシビアです。付き合いだけでは入会しません。自分に本当に必要かどうか研鑽ができるか、仲間が増えるかを見極めていきます。大事なものは魅力のある会になっているかどうかです。ちなみに、さいたまYEGは自分の会長の時に400人を超えました。委員会は16あり、その所属会員一人ひとりが事業を自分がつくる事ができる、失敗しても自分の経験になることがYEGの魅力として活動していました。会員拡大は新入会員がさらに新入会員を増やすことが必要ですし、その声かけには会員が組織を分かってPR出来ることが重要です。さきほどの相原会長の話聞いて、奉仕の素晴らしさを会員が知り、広めていくことが大事かと思いました。

ここで話を改めて、私の祖父の話をします。昔は葬儀を自宅で行っていました。その葬儀の時に家の顔になる障子を無料で張り替えていた話を聞きました。父親も父親で早く他界しましたが、実は敬虔なクリスチャンで覚えている記憶として「頼まれて出来ることは何でもやりなさい」とう教えをもらいました。父が早く亡くなったのち、母が家業を継いで10年後27歳の時に自分が家業を継ぎ今に至ります。今回のコロナの影響の話をします。売り上げは5月82%減、6月60%減でした。従業員もやる事がなく、どうしようかと思っていたときY E Gの仲間からマスクを融通してもらい購入し従業員に配りました。そうしたらその家族が大変喜んで、マスクを街に配ることを考えました。常盤5丁目全ての家庭に5人で2000枚を手分けして配りました。その配布を終わった後の従業員の顔が、達成感に満ちあふれていました。仕事では味わえない社会貢献は人間の喜びでもあり、豊かな人生をつくるものかなと思いました。

今回ここに来ることになり、ロータリーってなんの会なのかな？と思って事前にHPでロータリーの歴史部分を見てみてもぜんぜん分かりませんでした。ただそのHPのなかで、相原会長の挨拶部分が素晴らしくとても勉強になりました。ロータリークラブって良い会だと思いましたが、社会貢献は重要だと思いました。最後に、このようなコロナ禍の中です。浦和中ロータリークラブの皆さんも健康を第一で家業の発展をこころから願います。本日はありがとうございました。

## アフリカからポリオが根絶

## 地区ロータリー財団 小宮泰二 部門委員長

8月25日、世界保健機関（WHO）アフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶が正式に認定されました。この認定は、アフリカ最後のポリオ常在国であるナイジェリアで、野生型ポリオの症例が最後に記録されてから4年が経過した後に行われるものです。本来昨年9月で3年間新たな症例が確認されていなかったのですが、2017年に再度発症してしまった経験から根絶宣言に時間がかかったようです。この認定はポリオを根絶し、麻痺を引き起こすこの恐ろしい病から世界の子どものを守る闘いにおいて、非常に大きな前進です。ロータリーは、1985年にポリオ・プラスプログラムを開始、続いて1988年に世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を発足し、以来20億ドルを投じてきました。ナイジェリアがポリオフリーとなりアフリカ大陸からポリオが根絶された今、残る常在国と症例数はアフガニスタンの37例・パキスタンの67例（8月19日現在）となっています。この快挙は、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体、アフリカ地域のリーダー、数百万人もの献身的な医療従事者や支援者と協力して、ロータリー会員が数十年間にわたり懸命に活動してきた成果です。ポリオの根絶はロータリーが始めたことであるということは、紛れもない事実なのです。

「編集後記」前回の例会食事は、今年2回目うな重であった。とても美味しく戴いた。ロータリーの例会の重要な楽しみの中にその食事がある。限られた予算の中、S A Aの努力に感謝。前週の例会プログラムは、増強月間のそれであったが、うな重の効果もあって心なし和やかな雰囲気を感じ取ったのは私だけであらうか？これも重要な増強プログラムであらう。（T・K）

会長：相原 章 会長エレクト・幹事：尾崎 康 クラブ管理運営・プログラム委員長：三島 泉  
親睦委員長：市川浩正 会員研修委員長：辻村浩司 研修リーダー：小谷野英一 公共イメージ向上委員長：小嶋敏夫  
出席報告 8月27日(木)第1419回例会

会員総数(免除)	40(4)名	本日の出席率	88.89%
出席算定	32/36	メイクアップ	1
本日の出席	31		

例会日：毎週木曜日 19:00～20:00  
例会場：さいたま商工会議所会館 2階 第1ホール  
事務局：さいたま市浦和区高砂3-17-15  
さいたま商工会議所会館 7階  
TEL:048(838)7740 FAX:048(838)7741  
ホームページ http://urawa-naka-rc.org